

東フロコーポレーション株式会社

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間：2023 年 9 月～2024 年 8 月)



2024 年 7 月 新鹿児島事業所竣工

新鹿児島事業所が竣工、延床面積は既存工場の 2.3 倍となります。既存工場から全ての人員と設備が移動し 2025 年 3 月から本稼働の予定です。

屋上には 50KW の太陽光発電設備を設置、全量自家消費を行い CO2 排出量の削減を進めます。

新事業所では新商品の開発と生産性向上活動を強化し更なる成長を目指します。

作成日：2024 年 12 月 24 日

1. 組織の概要

【事業所名及び代表者氏名】

東フロコーポレーション株式会社
代表取締役社長 田畑 隆一郎

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者 代表取締役社長 田畑 隆一郎
TEL : 042-593-8811 FAX : 042-593-8812
Eメール : r_tabata@tofco.jp

担当者 : 池田 重文, 安田 峻也
TEL : 042-593-8811 FAX : 042-593-8812
Eメール : s_ikeda@tofco.jp, s_yasuda@tofco.jp

【所在地】

本社 : 東京都日野市南平 4-3-17
東京事業所 : 東京都八王子市大和田町 3-3-13
鹿児島事業所 : 鹿児島県霧島市隼人町住吉 258
仙台営業所 : 宮城県仙台市泉区泉中央 1-16-6 … 2024 年 1 月移転
大阪営業所 : 大阪府大阪市東淀川区東中島 1-20-14
福岡営業所 : 福岡県福岡市博多区博多駅南 5-8-5

【事業活動の内容】

流量計及び流量制御機器の製造・販売

【事業の規模】

売上高：43.1 億円／2023 年度

※ 2024 年 8 月末現在

	本 社	東 京 事業所	鹿児島 事業所	仙 台 営業所	大 阪 営業所	福 岡 営業所
従業員数 (名)	35	108	101	3	4	3
延床面積 (㎡)	1,054.94	5,411.26	3,228.83	55.76	54.64	48.2

総従業員数：254 名（役員、派遣社員を含む）

総延床面積：9,853.63 ㎡

事業年度：2023 年 9 月から 2024 年 8 月まで

2. 対象範囲

当社は全組織・全活動を対象としています。

【登録組織名】

東フロコーポレーション株式会社

【対象事業所】

本 社：東京都日野市南平 4-3-17

東 京 事 業 所：東京都八王子市大和田町 3-3-13

鹿 児 島 事 業 所：鹿児島県霧島市隼人町住吉 258

仙 台 営 業 所：宮城県仙台市泉区泉中央 1-16-6 … 2024 年 1 月移転

大 阪 営 業 所：大阪府大阪市東淀川区東中島 1-20-14

福 岡 営 業 所：福岡県福岡市博多区博多駅南 5-8-5

3. 環境経営方針

＜環境理念＞

当社は、省資源・省エネルギー問題への取組が人類共通の課題であると認識し、企業の社会的、公共的使命を自覚して、本業である流量計及び流量制御機器の事業活動を通じて、人と自然が共生できる環境の創造と持続的発展が可能な社会づくりに貢献いたします。

＜基本方針＞

1. 節電と省エネルギー化を進め、二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化防止に努めます。
2. 省資源化に努め、廃棄物の発生量を低減します。
3. 節水に努め、排水量を低減します。
4. 環境に関連する法規制・条例等を遵守し、環境配慮に努めます。
5. 化学物質の適正管理に努めます。
6. グリーン購入を推進することにより、環境に配慮した調達を進めます。
7. 環境への負荷の少ない製品、又は環境への負荷を少なくすることに貢献できる製品の提供に努めます。

当社は環境に配慮した事業活動を行うため環境経営方針を定め、この方針を定期的に見直します。
社内要所に環境経営方針を掲示し、全従業員に環境経営システムを周知します。

制定日 2013 年 3 月 1 日

改訂日 2019 年 9 月 1 日

東フロコーポレーション株式会社
代表取締役社長 田畑 隆一郎

4. 環境経営目標及びその実績

【中期目標】

	2017 年度	2022 年度			2023 年度				2024 年度
	基準年度	目 標	実 績	達成 状況	目 標	実 績	達成率 (%)	達成 状況	目 標
1. 二酸化炭素排出量削減									
・電気 (Kg-CO2)	436,444.6	452,814.0	422,531.0	◎	411,374.7	387,666.0	106.1	◎	406,997.4
・ガソリン (Kg-CO2)	31,345.2	29,777.8	19,772.6	◎	29,464.4	21,394.3	137.7	◎	29,151.0
・ガス (Kg-CO2)	—	—	(857.6)	—	—	(820.1)	—	—	—
・CO2 合計 (Kg-CO2)	467,789.8	482,591.8	442,303.6 (443,161.2)	◎	440,839.1	409,060.3 (409,880.4)	107.8	◎	436,148.4
2. 廃棄物排出量削減									
・一般廃棄物 (Kg)	14,416.4	15,007.3	13,661.4	◎	13,995.4	12,872.9	108.7	◎	13,846.3
・資源ごみ (Kg)	—	—	14,810.4	—	—	17,188.8	—	—	—
・産業廃棄物 (Kg)	11,965.0	13,336.0	7,874.1	◎	11,247.2	1,463.2	768.7	◎	11,127.4
3. 総排水量削減 (㎡)	3,736.0	3,943.0	4,369.0	○	3,531.5	4,168.0	84.7	○	3,498.3
4. 化学物質の適正管理	適性管理	適性管理	実施済	—	適性管理	実施済	—	—	適性管理
5. グリーン購入 (事務用品, %)	81.0	86.7	98.9	◎	89.3	99.8	111.8	◎	90.0
6. 環境配慮製品の販売 (台)	17,577	20,038	28,199	◎	20,214	19,807	98.0	○	20,389
7. 環境配慮製品の開発 (件)	34	49	63	◎	49	64	130.6	◎	49
売上高 (億)	30.9	—	53.5	—	—	43.1	—	—	—
社員数 (人)	191	—	259	—	—	254	—	—	—

※ 達成率 100%以上を“◎”，80%以上を“○”，60%以上を“△”，60%未満を“×”で表す。

※基準年度は、2017 年 9 月～2018 年 8 月とする。今後は達成率の状況により、基準年度の見直しを実施する。

※ガスは使用量が極めて少ない為、管理対象とはせずに実績値のみ（カッコ表記）を計上する。CO2 合計（Kg-CO2）欄の実績は、カッコ表記内に合算している。

※資源ごみは実績値のみを計上する。

※中期目標の CO2 排出係数は、2019 年度（平成 31 年度）：調整後排出係数：0.496kg-CO2/kwh を使用した。

5. 環境活動計画・取組結果と評価、次年度の取組内容

環境活動計画	取組結果と評価	2024 年度以降の取組内容
二酸化炭素排出量削減（電気） ①昼休みの消灯 ②エアコン冷暖房温度管理 ③ケルビス・ウォームヒス推進	節電活動の効果があり、二酸化炭素排出量が抑えられている。	今後も節電活動を継続して実施し、二酸化炭素排出量の削減に努める。 必要に応じて、蛍光灯の LED 化を速やかに進める（蛍光灯の 2027 年問題対応）。
二酸化炭素排出量削減（ガソリン） ①エコドライブの徹底 ②空気圧チェック（給油毎） ③燃費管理	燃費による評価を実施。今期より走行距離や用途にあわせて使用する車両を使い分けるようにしたので、燃費目標も達成する事が出来た。	今後も二酸化炭素排出量の削減、燃費目標を達成できるように継続して実施する。
廃棄物排出量削減（一般廃棄物） ①分別ルール of 徹底 ②リサイクル率の向上	分別のルールが徹底され、リサイクル活動を啓蒙している。	環境活動計画に基づき、継続して実施する。またリサイクル率の目標を立てて、更なる向上を目指す。
廃棄物排出量削減（産業廃棄物） ①分別ルール of 徹底 ②リサイクル率の向上	活動計画に基づき、目標値より削減が達成できた。生産活動時と生産活動時以外で発生した廃棄物の排出量を分けて計上している。	環境活動計画に基づき、継続して実施する。またリサイクル率の向上を目指す。
総排水量の削減 ①節水シールにより呼びかけ ②節水弁の取付け	落下物による大流量水槽の水の入れ替えや屋外の高圧洗浄作業・雨漏り調査などで水の使用量が増えた。	落下物混入防止策を講じる。 また継続して節水活動の実施、水の再利用、漏水チェックなどを行う。
化学物質適正管理 ①化学物質品名当調査 ②SDS 収集 ③対策検討	アルコール類の購入量・使用量・廃棄量をリスト化して、保管量が指定数量の 1/5（80L）を超えないように管理している。	環境活動計画に基づき、継続して適正管理を実施する。
グリーン購入 ①事務用品について現状調査 ②調査に基づき目標設定	特に問題はなくスムーズに活動が出来ている。	環境活動計画に基づき、継続して実施する。
環境対応製品販売 ①環境対応商品の開発 ②環境対応商品の拡販	今期は前期より売上が 20%ダウンし、環境配慮製品の販売が微減した。しかし設計開発や改良業務には遅れが無く、目標を達成できた。	今後も環境に優しい製品の開発や拡販を継続して実施する。 また遅延なく新商品の完成を目指す。

6. 太陽光発電設備の稼働状況（鹿児島事業所）

月(2023年9月 ～2024年8月)	検針期間		日数	2023年売電電力量 (kwh)	2023年売電金額 (円)
9月	8月28日	9月25日	29	5,914	208,125
10月	9月26日	10月24日	29	5,511	212,325
11月	10月25日	11月23日	30	5,310	202,692
12月	11月24日	12月24日	31	4,070	152,336
1月	12月25日	1月25日	32	4,753	164,435
2月	1月26日	2月25日	31	4,010	151,450
3月	2月26日	3月25日	29	5,537	213,326
4月	3月26日	4月22日	28	4,471	172,255
5月	4月23日	5月26日	34	6,889	261,908
6月	5月27日	6月23日	28	4,860	174,182
7月	6月24日	7月23日	30	5,624	167,902
8月	7月24日	8月26日	34	8,417	279,939
年間合計				65,366	2,360,875
月平均				5,447	196,740

- ・本年度は前年度を比較して、1%UPの売電電力量となった。

2022年売電電力量：64,708kwh ⇒ 2023年売電電力量：65,366kwh



※ 太陽光発電設備は、鹿児島事業所屋上に設置している

7. 新鹿児島事業所、建築工事について

- 2023 年 4 月鹿児島空港近く鹿児島臨空団地に建築工事がスタート。
2024 年 7 月に竣工、2025 年 3 月本稼働開始予定。
 - ・敷地面積 15,000 m²（現事業所の約 2.5 倍）
 - ・延床面積 6,800 m²（現事業所の約 2 倍）

【新鹿児島事業所：航空写真】



【新鹿児島事業所：南東より撮影】



8. 環境関連法規の遵守状況の確認・評価の結果

環境関連法規の遵守状況の評価の結果、環境法規等の逸脱はありませんでした。
また過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

適用環境関連法規	適用される事項 (事業活動、施設、物質)	遵守状況の確認
廃棄物処理法 各自治体廃棄物条例	・ 事業系一般廃棄物 ・ 産業廃棄物	・ 許可業者に委託 ・ 契約書の確認
消防法	・ 消防設備 ・ 消防器具の点検 ・ 消防訓練	点検項目の確認
	危険物・可燃物の保管量	保管量の確認
自動車 NOx・PM 法	NOx・PM 排出基準	排出基準適応車

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

今期も半導体市場の設備投資が減少し、当社売上は前期比 19%減 43 億円規模となった。従業員数は期中 5 名減の 254 名（派遣社員含む）。昨年より建設を始めた新鹿児島事業所が 2024 年 7 月に竣工、既存工場から全ての人員と設備を移動し 2025 年 3 月の本稼働を予定している。新商品開発と生産性向上の活動を強化し更なる成長を目指す。

環境活動 11 期目が終了。環境活動の結果は概ね良好な達成結果となった。環境活動の定着および省エネ機器への切替投資を継続してきた結果と思われる。

環境経営方針、環境活動については現状通りとし、引き続き積極的に推進していきたい。

以上

次回の環境経営レポートの発行は 2025 年 12 月を予定しています。

別表. EA21 推進組織について(2023 年 9 月～)



別表. EA21 役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人を用意 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・経営上の課題とチャンスの明確化 ・実施体制の構築(組織図及び役割・責任・権限)、周知
EA21 環境管理責任者	・環境経営システムを構築・運用する。(代表者から EA21 の権限を委任) ・環境目標の作成 ・教育・訓練の実施を指示 ・環境上の緊急事態への準備・対応 ・環境経営レポートの作成 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告
EA21 事務局	・EA21 の推進(環境管理責任者の指示を受けて) ・環境への負荷及び取組チェックの実施 ・環境経営目標・環境経営計画書／実績表の全体集計 ・環境関連法規等の取りまとめ表作成と遵守状況確認 ・環境関連文書・記録の管理
拠点責任者	・各目標に対する担当責任者の選任 ・拠点別環境経営目標・環境経営計画の作成・実施・確認・評価、達成状況及び改善策を環境管理責任者へ報告 ・環境活動における文書・記録の管理 ・不適合・問題に対する是正・予防処置の指示及び評価
担当責任者	・担当する環境経営目標に対し、環境目標・環境活動計画書／実績書の作成 ・担当する環境経営目標に対する達成状況を評価し、拠点責任者へ報告。未達成の場合、改善案を作成し、拠点責任者へ報告
全従業員(契約・パート含)	環境経営方針を理解し、環境への取組の重要性を自覚 EA21 で決められた各自の役割を実施